

本年2月6日、西条市主催の【あなたの女子力が地域を守る！】防災講演会に招かれ、「男女が共に考えるこれからの地域づくり」ー住民主体の防災・減災ーの発表をして来ました。事の起こりは、昨年の倉敷市での「日本女性会議」での港地区の発表を聞くことができずに名詞交換のみに終わってしまった西条市の女性の方々に依頼を受け実現いたしました。

西条市は四国の霊峰石鎚山を背に瀬戸内海があり、豊かなうちぬき名水もあり、柑橘類の種類の多さ、豊かな地域だと見受けられました。

これは市の職員の方に市内案内していただきわかりました。とにかく歓迎していただきました。講演会は6日（土）13時30分から15時まで市役所大会議室で行なわれました。これは男女共同参画セミナーでもあるので、いつもの「いきいきサロン」のお話のほかに、男性側からの防災、女性側からの防災の港地区の状況、「面白防災」「おしゃべりサロン」「ホネホネくらぶ」企業もかわりあっての防災、そんなこと全部ひっくるめて男女が同じ土俵に立ちお互いの力を均等に出しあい、認めてあげてこそ、男女共同参画言えるのではないかとお話をさせていただきました。嬉しいことに2月10日の愛媛新聞でも大きくカラーで取り上げられて、自治会も社協もまちなっていき事でしょう。とりわけ、ありたいと願うものです。



西条市 ぼうさい女（防災士）

■導管管理状況報告会

港地区内に導管を敷設している関連企業5社（コスモ石油、東ソー、三菱化学、中部電力、東邦ガス）より平成28年3月に3回に分け、平成27年度の点検結果報告を受け、問題点、要望など話し合います。この報告会は毎年開催されております。

■『携帯型デジタル簡易無線機』を購入しました

携帯型デジタル簡易無線機2台を購入しました。平成26年に引き続いて港地区で5台となりました。港地区での非常時などにおける通信網の整備に役立つものと思います。

《防災委員》（敬称略・五十音順）

飯田 剛生	家城 宏光	石田 茂明	伊藤 範幸	大橋 隆	奥村 吉孝	笠井 得生
加藤 亘	小崎 重夫	清水 泰次	嶋田 政弘	鈴木 完一	堤 利臣	寺井 勝
豊田 成彦	長谷川 正司	長谷川 雄俊	羽多野 隆	林 重雄	藤村 まさみ	松島 英男
三島 誠	森 義彦	山内 達生	山田 鑛明	吉田 正紀		

《防災連携企業》（五十音順）

石井燃商(株)	伊勢湾倉庫(株)	(株)エネックス	おのえ作業所	風薫会
協同海運(株)	九鬼産業(株)	九鬼肥料工業(株)	コスモ石油(株)	佐藤クリニック
三エスゴム(株)	JSR(株)	昭和電工ガスプロダクツ(株)		住友電装(株)
第一工業製薬(株)	大成建設(株)	大宗建設(株)	太平洋セメント(株)	高砂建設(株)
中部海運(株)	中部電力(株)四日市火力発電所		中日本建設(株)	東ソー(株)
東邦ガス(株)	東陽興業(株)	日本板硝子(株)	日本海事検定協会	日本カニゼン(株)
日本貨物鉄道(株)	日本通運(株)	日本トランスシティ(株)		
(株)ニヤクコーポレーション		林興業(株)	三菱化学(株)	四日市海運(株)
四日市電機(株)	四日市港郵便局			

港 防災だより

No.21

2016年（平成28年）3月10日

発行人／四日市市港地区自主防災組織連絡協議会 会長 笠井 得生

『港 防災だより』について

港地区には、防災を考えるうえで多種多様な問題が存在しております。（例：埋立地（地震に弱い）、海岸線（津波に弱い）、臨海コンビナートに近接、住民の高齢化率40.7%）これらの問題に対処して行く為に重要なことは、住民／企業／行政の相互理解とそれに基づく活動であります。そのためには、日頃、この三者が防災に対する情報を共有し、活動することが重要であり、その一助としてこの防災だよりを発行しております。

■避難訓練&タウンウォッチング

平成27年9月27日（日）港地区において、8時30分発災 安否確認情報伝達訓練 8時50分に323名の安否確認情報が本部に報告されました。その後、各町タウンウォッチングを次の要領で実施しました。

1. 班を作り、リーダー・記録係・発表係・を決める。
2. 各班のリーダーはタウンウォッチングを行う範囲を決める。
3. 記録係はタウンウォッチングの結果を記録する。
4. なやプラザ到着後タウンウォッチングの結果をまとめ発表係が発表する。

タウンウォッチング終了後、なやプラザに集合し各町の結果をまとめる作業を各町熱心に取り組んでもらいました。その結果を順次発表を行いました。各町ともその町の現状を的確に捉え、認識が深まったように感じられ、有意義であったと思います。今回の得られました貴重な情報を自主防災組織、各町自治会で生かしていくのが大切だと思います。





■ サテライトみなと消防訓練



平成28年2月26日、春の火災予防運動（3/1～3/7）の一環として、特別養護老人ホームサテライトみなとにおいて、中消防署と事業所職員による初動対応訓練が行われ、入居者、職員による避難誘導の訓練が行われました。消防職員とも慎重に真剣に取り組み、無事に終了しました。



■ 地域を知って、企業を理解する三町・四社の防災懇談会 開く

三町（中納屋町、蔵町、相生町）

四社（四日市電機、佐藤クリニック、大宗建設、日本通運）

みえ防災コーディネーター 遠藤氏

各代表が集まり、2月3日（水）なやプラザ2階会議室で自治会と企業との連携防災懇談会を開きました。

三重防災コーディネーターの遠藤氏の助言では、まず、自助「自分の命は自分で守ること」・次に「安否確認について家族で話し合うこと」が大切だとのことでした。企業からは、インターネット等通信を活用した安否確認の取り組みが紹介され対策が進んでいると感じました。企業連携グループ別防災訓練については相互に理解を深め取り進めていきたいと思ひます。

■ 私たちのまち（港地区）の防災《その1》の改訂

平成26年度に私たちのまち（港地区）の防災（その2）を改訂致しました。

（その1）は平成19年度に改訂しておりますが（その2）との整合性を図るために、見直し、改訂を行いたいと思ひます。

■ 港地区自主防災組織連絡協議会の主な総会予定

自治会/企業代表者会議

港地区自主防災組織連絡協議会 総会

平成28年5月13日（金）

平成28年6月 5日（日）

トピックス

■ 防災活動の紹介

日本板硝子株式会社四日市事務所 三島

弊社では様々な防災活動に取り組んでいますが、今回はその中から“津波を伴う地震”についての主な活動をご紹介します。

① 場内・外避難訓練（年1回）

南海トラフ地震の理論上最大クラスが発生した場合、弊社は最大1mの浸水があると言われていす。このような状況では、迅速な避難が必要になるため、場内総合避難訓練を繰り返し行い、全従業員の防災・避難意識を維持向上させています。また、津波到達が予想される場合、場外への避難も必要になると考え、選抜メンバーによる場外避難訓練を行い、避難ルートは適切か、変化はないか、チェックを行っています。

② 防災図上訓練（年2回）

地震発生時にはいろいろな問題が発生します。これに対処するためには、事前のシュミレーションが有効であることから、全従業員に防災図上訓練を実施し、不測の事態を想定し、速やかな対処行動が図れることを目指しています。

③ 事業継続計画（BCP）

災害が終息した後、企業としては早急に復旧を行い事業を継続させる必要があります。そこで、弊社では事業継続計画の検討、作成を行っています。

■ 2016年 日本女性会議 倉敷に招かれて

白峰 圭子

昨年10月9日・10日、港地区連合自治会、港地区社協の応援をいただき、連合自治会副会長 藤村まさみ氏と共に日本女性会議倉敷大会に参加いたしました。

メイン会場の倉敷市民会館に全国から2,000人が参加して開会式があり、大会会長 伊藤香織市長の挨拶「思いやり 男女（ひと）が集う白壁のまち～ライフステージとそれぞれの男女共同参画」をテーマに10日まで講演やシンポジウム等があり、NHKアナウンサー 武内陶子さんの記念講演、夕方からは各地からの人々の交流会がありました。

翌日（10日）は10会場でテーマ別の分科会がありました。私たちは第2分科会「防災」で事例発表者三人のうち一人として、港地区の「防災」特に女性の側から「寄ってたかって考えた」面白防災としての「いきいきサロン」の発表を白峰が、事例の映像担当を後藤マネージャー、全般の助手を藤村さんと三位一体で行ってきました。

内容は災害に強い体づくり、避難時助け合いのためのコミュニケーションづくり、楽しく面白いアイデアの数々の防災ゲーム等報告しましたが、予想外の反響で、「防災」というと何か重苦しいという印象があったが、こんな楽しい取り組み方があったのかと、発表後も是非、地元に戻ったら実行したいと、皆さんに取り囲まれて、びっくりしたような事でした。さらに閉会式でも、特別に港地区だけ、今回の発表にお褒めの言葉をいただき、三人で感激と感謝の気持ちで、四日市に帰ってまいりました。これは、とりもなおさず、港地区の地域の力の結晶と、皆様に心より感謝申し上げます。

